

## 学校法人稲置学園「平成 29 年度事業計画書」

平成 26 年度に策定した「第 2 次中期目標・中期計画」を抜本的に改定し、平成 29 年度は新たに「2017 年度中期計画」を策定した。平成 29 年度事業計画は、「2017 年度中期計画」の中から、教育の充実、教育基盤の拡充及び経営基盤の改善に該当する重点事業を以下のとおり掲げる。

### 1. 教育の充実

#### [大 学]

##### 大学のグローバル化

- ・海外交流プログラムの充実、英語運用能力の強化・支援、英語による授業科目数の拡大、海外留学に向けての現地語速習プログラムの開設等により、学内のグローバル環境の整備を行う。
- ・日本語・日本文化研修の充実を図り、外国人留学生の受け入れ体制の環境整備を行う。

##### 地域社会への貢献

- ・石川県下の自治体との連携包括協定を充実する。
- ・産学連携の基盤づくりとして、金融機関との包括協定や同窓会を通じて、地元企業との連携ネットワークの構築に取り組む。

#### [短 大]

##### 海外留学（体験）倍増計画

- ・海外留学等のプログラム内容で近隣の競合短大との差別化を図り、異文化体験による学生の意識改革に重点をおき、就職実績の向上と入学者確保に繋がる取り組みを実施する。

##### (海外留学プログラム)

##### 短期留学（夏の語学研修・春の語学研修）

##### 海外研修（エリアスタディーズ、海外ボランティア、海外インターンシップ等）

##### MOON SHOT abroad（フィリピンセブ島での 2 週間の語学留学）

##### ほしたび上海、ほしたびウラジオストク（洋上就職合宿クルーズ）

#### [中学・高校]

##### 中高一貫校としての教育の充実

- ・先取り教育と習熟度別授業を導入し、3つのプログラムを軸に教育の充実を図り、中学段階では、進研学力推移調査 S クラス 20 名以上、高校卒業時には、難関大学等に現役 20 名以上の合格を目指す。

### (教育プログラム)

#### グローバルプログラム

海外修学旅行、イングリッシュキャンプ等の異文化体験によるグローバル教育を行う。

#### サイエンスプログラム

仮説、実験、観察、検証など、体験を通して科学を学び、思考力・判断力・表現力を育む。

#### キャリアプログラム

職業研究や大学見学、講演等体験学習を通して自己を理解し、将来の生き方を考察する。

- ・平成 29 年度の中高一貫校の入学生より、生徒全員にタブレットを導入し、視覚的でわかりやすい授業の展開、自宅での見直し・振り返り学習に活用することで、学力向上を図る。

### [星稜幼稚園]

#### 認定こども園開設による教育・保育の充実

- ・質の高い一貫した就学前教育、大学との連携による独自の・創造的な教育・保育、調理室を活用した食育教育、金箔体験等の特色ある活動、星稜でしかできない課外活動等に取り組み教育・保育の充実を図る。
- ・歩く、走る、バランスをとる、もぐる、飛ぶ、掴む等の身体知を高めるために、園庭に大型固定遊具を設置する。

### [星稜泉野幼稚園]

#### 認定こども園開設による教育・保育の充実

- ・2歳から6歳までの質の高い一貫した就学前教育、大学との連携による独自の・創造的な教育・保育、和太鼓等の特色ある活動、個別ニーズに対応した課外活動等に取り組み教育・保育の充実を図る。
- ・バランス感覚、リズム感覚、平衡感覚等の運動機能や感性・創造性を高めるために、園庭の整備を行う。

## 2. 教育基盤の拡充

### [大 学]

#### 人文学部国際文化学科の運営と展開

- ・平成 31 年度の完成年度における入学者定員を確保するため、入学試験の評価方法や人文学部の魅力の P R 方法の改善に取り組み、県内及び富山・上信越地域の上・中位進学校を対象に高校訪問で丁寧に説明し入学者確保に努める。

- ・学生の留学前の語学力をブラッシュアップさせるため、E S P（英語力ステップアッププログラム）を強化・充実する。
- ・正課授業や課外活動、地域活動に必要なスポーツ施設の在り方を含め、検討委員会を立ち上げ、計画化に向けて検討する。

#### 〔中学・高校〕

##### I C T教育の充実

- ・タブレットを導入し、効率的な授業の実施や生徒への案内等の情報の一元化、校務の効率化に取り組む準備段階として、平成 29 年度から教員研修や視察等を実施する。

##### 運動施設の建替え

- ・建設から 40 年以上経過し老朽化している運動施設（武道館、第 3 体育館、トレーニングセンター）の建替えに向けて、施設の集約や再配置等を含めて、検討委員会を立ち上げ、計画化に向けて検討する。

##### 寮の拡充

- ・既存の寮（3 棟）の現状の課題や今後の寮の在り方を含め、検討委員会を立ち上げ、計画化に向けて検討する。

#### 〔経営企画室〕

##### 新たなキャンパス用地の取得

- ・今後の校舎建て替え用地やスポーツ施設の整備・拡充用地を確保するため、新たなキャンパス用地の取得に向けた取り組みを行う。

### 3. 経営基盤の改善

#### 〔法人事務部〕

##### 人材育成の充実

- ・星稜 100 年ビジョンの実現や学園のミッションの達成に向けて、職員に求められる役割を果たすために必要な能力や専門性を明確にするため、各職員のキャリアパスも見据えた計画的・組織的な研修プログラムを策定し、研修に取り組む。

##### 電子マネー設備の拡充

- ・電子マネー IC O C A 対応機器を、食堂券売機や大学・短大部の証明書発行機に設置し、学生・生徒・保護者等の利便性の向上を図る。

### 4. その他

#### 〔大 学〕

##### 大学創立 50 周年記念事業

大学創立 50 周年記念事業として、記念式典、祝賀会、記念講演会（シンポジウム）及び学部主催講演会を実施し、地域へ対して本学の教育や活動について広く周知する。

前述の行事以外には、本学との絆を深めるために卒業生をキャンパスへお招きするホームカミングデーの実施、国際交流を主としたイベント（インターナショナルウィーク）を実施する。

〔法人事務部〕

#### 教職員情報設備更改事業

事務業務と電子会議を 1 つの PC で実施し、業務の効率化と費用低減を図るために、PC のタブレット化及び複合機の連動化を行う。

#### 中高コンピュータ教室更改事業

コンピュータ教室の更改に合わせて、従来の個別学習型及び協働学習型から一斉学習型に変更し、様々な授業の形態に対応できるように改善する。